

あたたかく
なりたい時に

湯気の向こうに

穏やかな顔が見える。

そのスープのことだけを考える瞬間が、そこにある。様々な食材から溶け出した味わいと栄養。時間と手間をかけて作ったスープは、滋味となっておなかの底からじわりと染みわたり、優しい時間をもたらせてくれる。「あなたのため」は、最高の隠し味。これは、作り手を励ますレシピ集だ。



『あなたのために いのちを支えるスープ』
(辰巳芳子／著、文化出版局)

2016

山梨県立図書館の職員が選ぶ

こんな時、 この一冊

しゃん！と
したい時に

乱雑な台所に

は、げんなりする。

怠けている自分を突きつけられる思いがするのだ。幸田文の台所はきちんと整い、そこからは季節の食材を用いた丁寧な料理が生まれた。お惣菜を心を込めて作ることは、きちんと生きることにつながる。当たり前のことを、きちんとできる人間でありたいと、食を通じて教えてくれる。



『幸田文台所帖』
(幸田文／著、青木玉／編、平凡社)

ネガティブに
なってしまった時に

「人生うまくいかないな」と誰しも一度は思ったことがあるだろう。本作に登場するのもいわゆる「ついてない」人達。だが、彼らが出会うことによりそれぞれの人生に新たな道筋が見えてくる。うまくいかないことがあっても、自分にできることを精一杯やっていれば自然といい方向に向かう。そんなことを思わせてくれる一冊。



『今はちょっと、ついてないだけ』
(伊吹有喜／著、光文社)



やまなし読書活動促進事業によせて

本を贈ろう

山梨県立図書館長 阿刀田高

子どものころ、だれかから…たとえばお祖父さん、お祖母さん、とにかく親しいだれかから贈られた一冊の本。

—お菓子のほうがよかったのに—

と、そのときは一瞬思ったかもしれないが、お菓子なんかすぐになくなってしまふ。

わけもなく心に残った本…。本が持つ独特な存在感。中身の不思議さ、おもしろさ。字のむつかしいことだって、それを覚え、意味を知った喜びとなる。

本は心に残るのだ。かなり高い確率で一生のサムシングとなって役立ってくれるものなのだ。だから、だれかに心をこめて真剣に本を贈ろう。それは、今でしょ。

本に向かい
あいたい時に

フランスの古物市で偶然手に入れた古い絵はがきに書かれた不思議な詩。差出人はアンドレ・L。詩に惹かれ調べうちに数編のアンドレの詩に出会う。どれも10行きっかりに書かれた難解な言葉の塊。ゆっくりとした時の流れのなかでアンドレに近づき、そして詩の意味を考えていく。静かに言葉に翻弄される心地よさが得られる。



『その姿の消し方』
(堀江敏幸／著、新潮社)

・・・ちょっとひといき、この一冊・・・



温かな涙を流したい時に	『ペンギン・ハイウェイ』 (森見登美彦／著、角川書店)
度肝を抜かれない時に	『烏に単は似合わない』 (阿部智里／著、文藝春秋)
失敗ばかりで落ち込んでいる時に	『ぐるんぱのようちえん』(西内みなみ／さく、堀内誠一／え、福音館書店)
誰かに共感してほしい時に	『現代語訳徒然草』(吉田兼好／原著、嵐山光三郎／訳著、岩波書店)
心が疲れちゃった時に	『うとうとまんぼう』 (斉藤洋／文、森田みちよ／絵、講談社)
気分が晴れない時に	『たまちゃんのおつかい便』 (森沢明夫／著、実業之日本社)
あの頃が恋しくなりそうな時に	『ナラタージュ』(島本理生／[著]、角川書店)
自分を見つめ直したい時に	『沢庵和尚名言集』(伊福吉部隆／著、慧文社)
まだ逃げ出すのは早いと思いたい時に	『十二番目の天使』(オグ・マンディーノ／著、坂本貢一／訳、求竜堂)
ちいさな感動にふれたい時に	『いのちをつなぐ』(大木トオル／著、岩崎書店)
幸せって何だろうと思った時に	『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』 ([ホセ・ムヒカ／著]、くさばよしみ／編、田口実千代／絵、汐文社)
知的好奇心を刺激したい時に	『楽園のカンヴァス』(原田マハ／[著]、新潮社)
ちょっと違う世界をのぞいてみたい時に	『学校では教えてくれない人生を変える音楽』 (雨宮処凛／ほか著、河出書房新社)
不自由さを感じた時に	『ブランコ乗りのサン＝テグジュペリ』 (紅玉いづき／[著]、KADOKAWA)
人生を変えたい時に	『ぱくりや』(乾ルカ／著、文藝春秋)
心にゆとりがほしい時に	『逝きし世の面影』(渡辺京二／著、葦書房)
日々の疲れを癒したい時に	『おしまいのデート』(瀬尾まいこ／著、集英社)
気分が落ち込んだ時に	『ランチのアッコちゃん』(柚木麻子／著、双葉社)
季節を目で、言葉で感じたい時に	『空の名前』 (高橋健司／写真・文、光琳社出版)

・・・こんな時におすすめ！この一冊・・・



「家族」とは何かという思いで社会について考える時に	『「家族」難民』 (山田昌弘／著、朝日新聞出版)
働く意義を見つめ直す時に	『七つの会議』 (池井戸潤／著、日本経済新聞出版社)
明治に暮らしたくなった時に	『明治百話 上・下』 (篠田鈺造／著、岩波書店)
やっぱりイヌがいい!!と思う時に	『ハチ公物語』 (新藤兼人／作、岩淵慶造／絵、小学館)
なつかしい友人と会いたくなった時に	『ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石』 (伊集院静／著、講談社)
いつもの暮らしを変えてみたい時に	『フランス人は10着しか服を持たない』 (ジェニファー・L.スコット／著、神崎朗子／訳、大和書房)
「英語の秘密」を知りたくなった時に	『英語の歴史 過去から未来への物語』 (寺澤盾／著、中央公論新社)
イギリスに思いを馳せる時に	『イギリス美術の風景』 (塩田純一／著、ブリュッケ)
大切な存在との別れを乗り越えたい時に	『ずーっとずっとだいすきだよ』(ハンス・ウィルヘルム／えとぶん、久山太市／やく、評論社)
「真田丸」を見て戦国気分な時に	『戦国武将の時代折り紙』 (浜田勇／著、日貿出版社)
果物を楽しく食べたい時に	『フルーツ・カッティングの技法書』 (村上しずか／著、誠文堂新光社)
怖い話が読みたい時に	『メキメキえんぴつ』 (大海赫／著、太平出版社)
花の名前を覚えたい時に	『花の神話伝説事典』(C.M.スキナー／著、垂水雄二／訳、福屋正修／訳、八坂書房)
新しい言葉が気になった時に	『今どきコトバ事情』(井上俊／編著、永井良和／編著、ミネルヴァ書房)
旬を味わいたい時に	『やまなしのおかず』(山梨県食生活改善推進員連絡協議会／料理&レシピ、開港舎)
「そうだ、京都に行こう」と思った時に	『かわいい京都御朱印ブック』(西村由美子／著、主婦の友インフォス情報社)
美しい夜空を見たくなった時に	『宙(そら)の名前』 (林完次／写真・文、角川書店)
世界の国々を楽しく知りたい時に	『マップス 新・世界図絵』(アレクサンドラ・ミジェリンスカ／作・絵、ダニエル・ミジェリンスキ／作・絵、徳間書店児童書編集部／訳、徳間書店)